

## News Release

報道関係各位



株式会社大阪エヌデーエス

2022年1月17日

No. AIIA0122

### 「OSAKA NDS Embedded Linux Cross Online Forum #14」

開催のご案内（オンライン&会場参加）

～エバンジェリストが語るオープンソースの今と

オープンソース半導体革命の現状～

成功に導く答えはココにある

エバンジェリストが語るオープンソースの今と  
オープンソース半導体革命の現状  
～成功に導く答えはココにある～  
**Open Source**  
2021年12月2日 お申込み開始  
参加費：無料・事前登録制  
2022年2月10日（木）13:00 Webオンライン配信 & 会場参加  
**OSAKA NDS Embedded Linux Cross Online Forum #14**

株式会社大阪エヌデーエス（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：平山 武司、以下(大阪エヌデーエス)は、2021年7月開催のフォーラムに引き続き、2022年2月10日(木)「OSAKA NDS Embedded Linux Cross Online Forum #14」を開催致します。

今回のフォーラムでは、『エバンジェリストが語るオープンソースの今とオープンソース半  
 導体革命の現状』（～成功に導く答えはここにある～）と題し、第14回のフォーラムを開催  
 致します。ソフトウェア技術革新の中心的な存在となったオープンソースソフトウェアで  
 ある Linux 最新技術/開発動向/オープンソースコミュニティ活動などにフォーカスすると  
 同時に、今回は敢えてハードウェア非依存なオープンソース開発に積極的に貢献する事で  
 オープンソースソフトウェアを中心としたエコシステム形成に多大な貢献活動をしてもら  
 えますオープン標準命令セットアーキテクチャ仕様に関わる産学連携研究機関や半導体ベン  
 ダーにもご登壇戴きます。是非ともお誘い合わせの上、ご参加戴きますようお願い申し  
 上げます。

● **開催概要**

- 【名 称】 『Osaka NDS Embedded Cross Online Forum #14』
- 【開催日時】 2021年2月10日（木） 13:00～18:00
- 【参加方法】 Web オンライン（ZOOM ライブ配信）及び 会場参加  
 （グランフロント大阪 カンファレンスルームタワーC Room04）  
<https://www.kc-space.jp/accessmap/conference/>
- 【定 員】 200名（Web：165名/会場：35名）事前登録制・先着順受付
- 【参 加 費】 参加料無料
- 【主 催】 株式会社大阪エヌデーエス
- 【協 賛】 ルネサスエレクトロニクス株式会社  
 ST マイクロエレクトロニクス株式会社

● **プログラム**

12:30	開場	
12:30- 13:00	事務局[お知らせ・Q&A ご案内] 協賛 各社 Information	事務局
13:00- 13:10	開会のご挨拶	平山武司氏 (株)大阪エヌデーエス/代表取締役 社長
13:10- 14:05	【Keynote1】 「C2RTL 高位システム設計検証環境を 活用した RISC-V システム設計プラッ トフォームの構築」	一色 剛氏 国立大学法人東京工業大学 工学院 教授 ・ 一般財団法人新システムビ ジョン研究開発機構 代表理事

	<p>システム動作検証とハードウェア設計を共通のソフトウェア記述上（C/C++言語）で設計検証する「C2RTL 高位システム設計検証環境」を活用し、RISC-V アーキテクチャの特長（複数の命令セットプロファイル、命令拡張容易性など）を最大限に活かしながらシステム開発スピードを SW/HW の両面で大幅向上することを目指した「RISC-V システム設計プラットフォーム」の構築に向けた取組みについてご紹介します。</p>	
14:05-14:50	<p><b>【Keynote2】</b>  「RISC-V を通して見た、組込システムと SoC の現状と今後の展望」  組込（エッジ）システムに於いても、開発トレンドは SDA（Software Defined Architecture）コンセプトへ移行しつつあります。しかし、実時間処理の多い組込システムでは、単純に現在の SDA のコンセプトを導入しただけではシステムの成立性や開発効率の点で大きな課題があります。この課題にどう対応し組込システムの進化を推進していくかを、注目されている RISC-V の動向を絡めながら説明します。</p>	<p>杉本 秀樹氏  株式会社エヌエスアイテクス／取締役兼 C T O</p>
14:50-15:20	<p>Break 30min  Zoom ウェビナーによるグランフロント大阪会場内よりオンラインソリューション Live デモ配信 [詳細は近日公開]</p>	<p>サポーターパートナー最新情報  ・立花電子ソリューションズ（株）  ・（株）グルーセル</p>

<p>15:20- 16:05</p>	<p><b>【Keynote3】</b> 「コンソーシアム と コミュニティの 違いを考える」 近年デファクトスタンダード確立を 目指し多くの、それも類似の産業コン ソーシアム活動がアナウンスされてい る。 これはオープンイノベーションの潮流 を反映したものであるが、従来からの オープンソースコミュニティ活動とは 若干カテゴリーが異なるものであると 感じる機会が多い。コンソーシアム活 動の運営とコミュニティ活動の支援の 両方の経験を通して、これらの企業間 共創活動にどう取り組んでいけばよい かについて、私見を述べてみたい。</p>	<p>宗像 尚郎氏 Linux Foundation AGL Advisory Board ルネサスエレクトロニクス株式会社 / シニアダイレクタ  Linux Foundation Board Director ・ Automotive Grade Linux Advisory Board ・ Yocto Project Advisory Board ・ COVESA (旧 GENIVI ) board</p>
<p>16:05- 16:35</p>	<p><b>【Case Study1】</b> 「組み込み Linux を長期運用するための セキュリティメンテナンス」 Linux カーネルコミュニティでの開発 とメンテナンスをふりかえり、そこか ら組み込み Linux のセキュリティメンテ ナンスの方法について考察します。一 例としてサイバートラストで開発して いる EMLinux でのアプローチについ ても紹介します。</p>	<p>豊岡 拓氏 サイバートラスト株式会社 IoT 技術本部クライアントサービス開 発部 部長</p>
<p>16:35- 15:55</p>	<p>Break 20min</p>	<p>サポーターティングパートナー最新情報 ・ルネサスエレクトロニクス (株)</p>
<p>16:55- 17:25</p>	<p><b>【Case Study2】</b> 「X-Linux-AI と STM32MP1 で画像 系エッジ AI をスピード開発」 他社と差別化した製品を開発するた めに、画像系 AI 機能を取り入れたい開 発者の方向けに物体認識・画像分類エ</p>	<p>小谷 豊氏 ST マイクロエレクトロニクス株式会社 / マイクロコントローラ&amp;デジタル製 品グループ マイクロコントローラ製品 技術部 アシスタントマネージャー</p>

	<p>ッジ AI をすぐにお試し頂ける組込 Linux 用 AI ソフトウェアパッケージ「X-LINUX-AI」とマルチコアプロセッサ STM32MP1 をご紹介します。</p> <p>「X-LINUX-AI」は物体認識・画像分類のデモがすぐに試せ、誰でも簡単に素早くセットアップ可能です。監視用センサや分類用センサ機能を搭載した製品の企画において、プロジェクトの初期段階から、どの程度の認識率や処理速度を実現可能なのかすぐに確認することができます。また、「X-Linux-AI」の具体的な応用例についても、監視用センサのデモ等を交えてご紹介します。</p> <p>Linux と RTOS の共存に必要な仮想化や OS 間通信のソリューションについてご紹介させていただきます。</p>	
17:25-17:55	<p><b>【Case Study3】</b> 「ARM64 Flutter アプリと Native との繋ぎこみの検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Architectural overview</li> <li>- Flutter overview</li> <li>- Arm64 for Flutter Linux support</li> <li>- Flutter on Android Automotive OS</li> <li>- How to Connect with Native(C/C++) side</li> </ul>	橘 陽一氏
17:55-18:00	閉会&次回ご案内	事務局からのお知らせ

- お早めにお申し込み戴きますよう、宜しく願い申しあげます。先着順受付となり、定員に達した時点にて受付を終了いたします。〔参加無料・事前登録制・先着 200 名定員〕
- お申込者の方全員に、ZOOM Webinar 参加申し込み用 URL をお送りいたします。Web 参加ご希望の方のみ、お申し込み用 URL より Webinar ご登録をお願いします。
- 会場参加（定員制）お申込者の方には、改めまして会場参加留意事項 ご案内（兼参加票）

を後日、メールにてお送りさせていただきます。ご案内メールが届かない方は、  
[\[eforum@nds-osk.co.jp\]](mailto:eforum@nds-osk.co.jp)まで、ご連絡ください。

◆お申込みはこちら ⇒ [https://www.nds-osk.co.jp/contact/form\\_onelcf.html](https://www.nds-osk.co.jp/contact/form_onelcf.html)

各産業を取り巻く市場環境の変化は著しく、そのスピードが加速している中、加えて本年も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け 社会、さらには人々の生活までが劇的に変化しております。本フォーラム開催も前回の Web オンラインでのバーチャル開催に、今回はライブ配信映像を加え、一部をリアル開催とすることで、当フォーラムのビジョンの1つである相互交流を通じた創造の場を是非、ご体感戴ければと考えております。従来より『企業・研究機関・学校などの垣根を超え Linux 市場/動向/最新技術/運用&サポートなど多岐に亘る課題解決の為、参加者同士の相互交流の場・解決に向けたヒントを得る若しくは創造の場としてご活用戴く』というフォーラムのビジョンは不変であり、皆様と共に今後もご意見を頂きながらフォーラムのより良い運営を目指して参りますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

皆様に於かれましては大変な時期とは存じますが是非共、お誘い合わせ戴き、ご参加を頂ければと思います。

\*Linux Foundation、The Linux Foundation の米国およびその他各国における商標または登録商標です。Arm および Cortex は、EU とその他諸国における Arm Limited (またはその子会社) の商標または登録商標です。本リリース中の製品名やサービス名は全てそれぞれの所有者に属する商標または登録商標です。

#### 株式会社大阪エヌデーエスについて

大阪エヌデーエスは、45 年以上のソフトウェア開発実績を持ち豊富なオープンソースソフトウェア開発の経験を基に設計・開発などのエンジニアリングサービスとコンサルティングなどのソフトウェアプロフェッショナルサービスを提供しています。詳しくは、こちらをご覧ください。 [www.nds-osk.co.jp](http://www.nds-osk.co.jp)

\*ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご承知ください。

□■本件に関するお問合せ■□

株式会社大阪エヌデーエス

事業戦略マーケティング Gr (担当：佐々木/宮田)

Tel：06-6945-6800

E-mail：marketing@nds-osk.co.jp

<https://www.nds-osk.co.jp/>